

指導日時・教室	平成20年6月23日(月) 5限目 教室名 21H教室
対象生徒・集団	普通科 2年1組 36人(内訳 男子15人、女子21人)
科目名	世界史B(単位数3)
使用教科書	世界史B(出版社名 東京書籍)

## 1 研究テーマ

(1) 研究テーマ ノート形式学習プリントの効果的な活用法

(2) 研究テーマ設定の理由

世界史の莫大な学習量を限られた時数で、現代に近い時代まで授業で取り扱うには、学習内容の精選だけでは限度がある。そこで、限られた授業時間内により多くの分量を効果的に学習できるように、今年度はノート形式学習プリントを毎授業に配布し使用している。

使用のねらい・目的は、ノート記入に要する時間を短縮した分、教師の説明をよく聞いて考えてもらいたいという思いと、板書を書き写すことに終始している生徒に、メモを書き込んだり、白地図上で作業を行ったりすることで、より効果的な学習ができることを期待して行っている。

定期考査終了後には、試験範囲内の学習プリントを、自分のノートに書き写したり、自分なりに学習プリントに手を加えて作成した自作ノートを提出するという形で課題設定をしている。

しかし、このやり方にうまく対応して学習している生徒もいるが、授業中は学習プリントの空欄の記入しか行わず、一番重視している、歴史の流れや事件の背景、人物の功績やエピソードなどの説明には集中していない生徒も多い。

どのような学習プリントを作成し、どのような方法でそれを活用することが、授業の効果をより高めることができるのか、今年度一年間、工夫を重ねて実践してみたい。

2 単元(題材)名 ローマ帝国と地中海世界

3 単元(題材)の目標

- ・ローマの社会制度や人々の生活や思想について課題意識を持ち、意欲的に追求するとともに、古代地中海世界の文明と現代の私たちとの関係について考えようとしている。【関心・意欲・態度】
- ・ローマの発展と衰退について、その背景となる要因を多面的・多角的に考察し、人間社会に共通する文明や国家の盛衰の因果関係を公正に判断している。【思考・判断】
- ・ローマに関する様々な資料を見たり読んだりする中で、当時の人々の生活を想像するとともに、考察した過程や結果を適切にまとめたり、説明したりしている。【資料活用の技能・表現】
- ・地中海世界の様々な文化的要素を融合したローマ文明の特質について理解し、その知識を身に付けている。【知識・理解】

4 指導に当たって

(1) 生徒の状況

21ホームの生徒は、進学クラスということで、理解のレベルは高い方ではあるが、クラス内での個々の理解度には大きな開きがある。歴史が大好きで、自主的に調べ学習ができる生徒がいる一方で、歴史に苦手意識を持つ生徒もいて、カタカナの人名や地名が覚えられないとか、歴史を学習する意味がわからないといった声もある。

世界の歴史に対する苦手意識の背景には、学習の前提となる予備知識が少ないこと、中学校の社会科学習において世界史的内容の扱いが少ないこと、読書や世界の名作映画などの視聴経験の少なさ、日常生活の中で、世界の出来事への関心が少ないことなどがあると思われる。

そのためか、発問に対し消極的な生徒が多く、学習の進め方が教師主導なものとなりがちである。

(2) 指導方針・方法

大きな流れと重要な事件や事例に対する背景・内容・結果・意義について、十分に理解できることを授業の主眼に置きたい。

また、進学に際して、小論文が必要となる生徒が多いので、自分の理解した内容を要約して説

明できる力を育てることに注意をはらいたい。そのためには、資料を見て、読んで感じたことや読み取れた内容について表現する学習活動を多く持ちたいと思う。

### (3) 教材選定の理由

古代ローマ帝国の歴史については、二つの視点から考察する場面があると思われる。一つは、都市国家ローマがなぜ大帝に発展することができたのかという視点である。元老院を中心とした共和政がアテネの民主政よりも民主的ではないが、軍務や政治経験を積んだ功労者の発言を優先する政治体制や、征服した国を個々に条件を違えて支配する統治制度など、非常に優れた政治的資質の民族であったことを理解してもらいたいところである。

もう一つは、円形闘技場や水道橋などの建築物や、現代の私たちから見ても豊かさと繁栄を実感するローマ帝国の人々の生活がなぜ滅亡に向かっていったかという視点である。「温故知新」の言葉があるように、文明の衰退には歴史的に共通した原則があることを理解してもらいたいところである。

古代ローマ帝国の盛衰の歴史は、一つの完結したドラマであり、「なぜ歴史を学ばねばならないのか」という問いに答えを与えてくれるものと思っている。

## 5 単元（題材）の指導計画（総時数 8 時間）

第一次 都市国家から世界帝国へ（4 時間）

- ： 1 時 共和政ローマ
- ： 2 時 地中海世界の統一と社会の変質・・・本時
- ： 3 時 共和政国家の限界
- ： 4 時 皇帝権力の成立

第二次 ローマ帝国の繁栄（2 時間）

第三次 古代末期の社会と地中海世界の解体（2 時間）

## 6 本時の指導と評価の計画（第一次 第 2 時）

### (1) 本時のねらい

- ・ローマの発展について、その背景となる要因を多面的・多角的に考察し、人間社会に共通する文明や国家の盛衰の因果関係を公正に判断している。【思考・判断】
- ・ローマに関する様々な資料を見たり読んだりする中で、当時の人々の生活を想像するとともに、考察した過程や結果を適切にまとめたり、説明したりしている。【資料活用の技能・表現】

### (2) 準備・資料等 教科書、ノート、資料集(第一学習社・最新世界史図表)、学習プリント

時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】 (評価方法)
10	<p>【導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容の確認「支配領域を広げるローマ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本日の学習内容への関心を高め、学習意欲をおこす</li> <li>重装歩兵が活躍したから</li> <li>平民は戦争で活躍すれば、参政権が拡大したから</li> <li>政治体制が優れていたから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ローマがイタリア半島の諸都市の中で抜きん出て戦争の勝利し、支配領域を広げることに成功したのはなぜか、前回の授業の内容より考察させる</li> <li>なぜ、ローマはイタリア半島全域を支配することができたのか？</li> </ul>	(学習プリントを後で回収して記入内容を点検する)
10	<p>【展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ローマはイタリア半島を「分割統治」策で支配したことを学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習プリントで、植民地、同盟市、自治市では支配の処遇が異なることを確認する</li> <li>条件が異なるとローマに対して一致団結して反抗することができなかったから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ローマが征服していったイタリア半島の諸国家を分割統治なる統治策を用いたが、それはどのような効果を狙ったものであったか考察させる</li> <li>征服した都市に対して、異なる処遇で支配したことはどのような効果が狙いだったのか？</li> </ul>	
<p>【評価】ローマの発展について、その背景となる要因を多面的・多角的に考察し、人間社会に共通する文明や国家の盛衰の因果関係を公正に判断している。【思考・判断】</p>				
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>ローマは対岸のカルタゴと「ポエニ戦争」を繰り広げたことを学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図で西地中海の紀元前3世紀の状況を確認する</li> <li>フェニキア人の植民市カルタゴが西地中海の島々を支配していたことを確認する</li> <li>地図の作業を行う。</li> <li>当時のカルタゴが商業活動によって経済的な実力を持った国であり、五段櫓船の最新鋭の軍艦をもっていたことを確認する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西地中海世界においてフェニキア人とギリシア人の海上貿易の支配権争いがあり、イタリア半島を支配したローマは地中海世界への支配拡大へ向かったことを確認させる</li> <li>農業国であったローマが、南イタリアのギリシア人植民市を支配したことで、彼らの海上交易の利益を擁護する立場になったことを確認させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図作業がきちんと行えているか</li> </ul>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>「第2回ポエニ戦争」でのハンニバルの活躍について学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図でハンニバルが現在のスペインを開発し、傭兵集団を率いてアルプスを越えてローマ領内に侵入したことを確認する</li> <li>自分の土地や祖国を奪われたくないという気持ち</li> <li>分割統治策が効いていたから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハンニバルの傭兵軍団とローマの市民軍団の対決は、戦争のプロ集団とアマチュア集団の対決であったが、ローマがハンニバルの軍勢を次第に押し返すことができたのはなぜか考察させる</li> <li>傭兵集団のハンニバル軍は、どうしてローマの市民軍に勝てなかったのだろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図作業がきちんと行えているか</li> </ul> <p>(学習プリントを後で回収して記入内容を点検する)</p>
<p>【評価】ローマに関する様々な資料を見たり読んだりする中で、当時の人々の生活を想像するとともに、考察した過程や結果を適切にまとめたり、説明したりしている。【資料活用の技能・表現】</p>				
5	<p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次回の授業の内容を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>静かに聞き、次回への課題として意識する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポエニ戦争を境にローマ社会は変質をとげ、支配領域を拡大したローマも混乱が生じることを告げる</li> </ul>	